



UDP 回線の追加

この章では、既存のユーザ デバイス プロファイルのグループに回線を追加する方法について説明します。BAT テンプレートを使用して新しい回線を追加する場合、電話サービスもスピードダイヤルも変更できません。Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) では、既存のデバイスに回線を追加する際、BAT テンプレート内のそれらのフィールドを無視します。

- [既存の UDP への回線の追加 \(1 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用した既存の UDP への回線の追加 \(2 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートの UDP 回線フィールドの説明 \(4 ページ\)](#)
- [UDP 回線の追加関連のトピック \(8 ページ\)](#)

既存の UDP への回線の追加

CSV データ ファイルを使用して、既存のユーザ デバイス プロファイルに回線を追加できます。Cisco Unified Communications Manager の一括管理 (BAT) では、既存デバイスに回線を追加しても、電話サービスおよび短縮ダイヤルへの変更は無視されます。

始める前に

- このトランザクション用の BAT テンプレートを用意しておく必要があります。
- このトランザクション用の CSV データ ファイルを用意しておく必要があります。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザー デバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [回線の追加/更新 (Add/Update Lines)] > [回線の追加 (Add Lines)] の順に選択します。
[UDP 回線の追加設定 (UDP Add Lines Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この一括トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

- ステップ 3** テンプレートで既存の電話機の電話設定を変更する場合、[既存の電話ボタンテンプレートの更新 (Update the existing phone button template)] チェックボックスをオンにしますこのチェックボックスがオンになっている場合は、ユーザ デバイス プロファイル情報も更新されます。
- ステップ 4** [テンプレート名 (Template Name)] フィールドで、この一括トランザクションで使用するユーザ デバイス プロファイルテンプレートを選択します。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- すぐに電話機レコードを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
 - 後で電話機レコードを挿入する場合は、[あとで実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** 電話機レコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールおよび/またはアクティブ化します。

関連トピック

[BAT テンプレート内の電話回線の追加または更新](#)

[BAT ログ ファイル](#)

[BAT スプレッドシートを使用したユーザ デバイス プロファイル CSV データ ファイルの作成](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[UDP 回線の追加関連のトピック \(8 ページ\)](#)

BAT スプレッドシートを使用した既存の UDP への回線の追加

- このトランザクション用の BAT テンプレートを用意しておく必要があります。
- このトランザクション用の CSV データ ファイルを用意しておく必要があります。

既存の UDP に回線を追加するため、BAT スプレッドシートを使用して CSV データ ファイルを作成します。Cisco Unified Communications Manager の一括管理 (BAT) では、既存デバイスに回線を追加する際、テンプレート内の電話サービスおよび短縮ダイヤルのフィールドへの変更は無視されます。

BAT スプレッドシートのフィールドの編集を完了した後、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。エクスポートされた CSV 形式のデータファイルには、次のようなデフォルトのファイル名が割り当てられます。

```
<tabname>-<timestamp>.txt
```

ここで、<tabname> は、作成した入力ファイルのタイプ（UDP など）を表し、<timestamp> はファイルが作成された正確な日時を表します。



(注) いずれかのフィールドにカンマを入力すると、BAT 形式にエクスポートする際に BAT.xlt はそのフィールド エントリを二重引用符で囲みます。

スプレッドシートに空の行を含める場合、システムは空の行をファイルの終わりとして扱いません。空の行より後に入力されたデータは BAT 形式に変換されません。

手順

- ステップ 1** BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。
- ステップ 2** スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。
- ステップ 3** フィールドを表示するには、スプレッドシートの下部にある [回線の追加 (Add Lines)] タブをクリックします。
- ステップ 4** 以下のオプションから適切なラジオ ボタンを選択します。
 - 電話
 - UDP
- ステップ 5** スプレッドシートで、各回線の個々のデバイス プロファイルについてデータを入力します。すべての必須フィールドと関連するオプションフィールドに値を入力します。各列の見出しではフィールドの長さが指定され、また必須であるか、オプションであるかも指定されます。フィールドの説明については、「[表 1: BAT スプレッドシートを使用して UDP に回線を追加する場合のフィールドの説明 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。
- ステップ 6** BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを移すには、[BAT 形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックします。

ヒント エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [電話の挿入 (Insert Phones)] ウィンドウにある [サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックします。

システムは、デフォルトの名前 <tabname>-<timestamp>.txt を使用して C:\XLSDataFiles\ にファイルを保存します。または、[参照 (Browse)] を使用して、ローカルワークステーションの別の既存のフォルダにファイルを保存することもできます。

次のタスク

CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。

関連トピック

[BAT テンプレート内の電話回線の追加または更新](#)

[BAT ログ ファイル](#)

[CSV データファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集する](#)

[BAT スプレッドシートを使用したユーザ デバイス プロファイル CSV データ ファイルの作成](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[UDP 回線の追加関連のトピック \(8 ページ\)](#)

[サーバへのファイルのアップロード](#)

BAT スプレッドシートの UDP 回線フィールドの説明

次の表で、BAT スプレッドシートを使用して UDP に回線を追加するときのフィールドについて説明します。

表 1: BAT スプレッドシートを使用して UDP に回線を追加する場合のフィールドの説明

フィールド	説明
MAC アドレス/デバイス名 (MAC Address/Device Name)	電話機、VGC 仮想電話機、VGC Phone の MAC アドレスを入力します。CTI ポートおよび H.323 クライアントの固有 ID を入力します。UDP のデバイス名を入力します。
回線インデックス (Line Index)	電話の回線インデックスを表す数字 (1 ~ 34) を入力します。
[電話番号 (Directory Number)]	この回線の電話番号を最大 24 文字の数字と特殊文字で入力します。
ディスプレイ (Display)	コールの着信側の電話機ディスプレイに表示するテキストを入力します (たとえばユーザ名「John Smith」や電話機の設置場所「Conference Room 1」など)。 (注) このフィールドを空白のままにすると、[電話番号 (Directory Number)] フィールドに入力された値が使用されます。 (注) デフォルトの言語として英語が指定されています。
[回線テキスト ラベル (Line Text Label)]	回線と電話の組み合わせについて、この電話番号を特定するテキストを入力します。 (注) デフォルトでは英語が指定されています。

フィールド	説明
[話中転送 (外部) (Forward Busy External)]	回線が使用中のときに、外線番号から着信したコールの転送先となる電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無応答時転送 (外部) (Forward No Answer External)]	電話機が応答しない場合に、外線番号から着信したコールの転送先となる電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[カバレッジ無し時転送 (外部) (Forward No Coverage External)]	電話機のカバレッジがない場合に、外線番号から着信したコールの転送先となる電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[話中転送 (内部) (Forward Busy Internal)]	回線が使用中のときに、内部番号から発信されたコールの転送先とする電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[無応答時転送 (内部) (Forward No Answer Internal)]	電話機が応答しないときに、内部番号からのコールの転送先とする電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
カバレッジ無し時転送 (内部) (Forward No Coverage Internal)	電話機にカバレッジがないときに、内部番号からのコールの転送先とする電話番号またはディレクトリ URI を入力します。 (注) この設定は、外部の接続先 (制限されていない場合) を含め、ダイヤル可能なすべての電話番号と、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。

フィールド	説明
[パーティ参加トーン (Party Entrance Tone)]	<p>パーティ参加トーンに関する次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : [パーティ参加トーン (Party Entrance Tone)] サービス パラメータに設定された値を使用します。 • [オン (On)] : 基本コールがマルチパーティ コール (つまり割り込みコール、C 割り込みコール、アドホック会議、ミーティング会議、参加コール) に変更されるときに、電話でトーンが再生されます。さらに、いずれかの通話者がマルチパーティ コールを離れると、別のトーンが再生されます。制御デバイス (つまりマルチパーティ コールの発信元) にビルトインブリッジがある場合、制御デバイスで [オン (On)] を選択すると、すべての通話参加者に対してトーンが再生されます。制御デバイス (会議コントローラなど) がコールに残っていない場合や、制御デバイスがトーンを再生できない場合には、[オン (On)] を選択してもトーンが再生されません。 • [オフ (Off)] : 基本コールがマルチパーティ コールに変更されたときに、電話でトーンが再生されません。
パークモニタリング転送非取得時の接続先 (外部) (Park Monitor Forward No Retrieve Ext Destination)	<p>パークされている側が外部である場合、パークしたユーザの [未取得時のパークモニタリング転送の接続先 (外部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External)] パラメータで指定された接続先にコールが転送されます。[未取得時のパークモニタリング転送の接続先 (外部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination External)] フィールドの値が空の場合、パークされた側のコールはパークしたユーザの回線にリダイレクトされます。</p>
パークモニタリング転送非取得時の接続先 (内部) (Park Monitor Forward No Retrieve Int Destination)	<p>パークされている側が内部である場合、パークしたユーザの [未取得時のパークモニタリング転送の接続先 (内部) (Park Monitoring Forward No Retrieve Destination Internal)] が空の場合、パークされた側のコールはパークしたユーザの回線にリダイレクトされます。</p>
パークモニタリング転送非取得時のボイスメール (内部) (Park Monitor Forward No Retrieve Int Voice Mail)	<p>この設定には [ボイスメール プロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。</p> <p>この設定を使用すると、Cisco Unified Communications Manager は [接続先 (Destination)] ボックスと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定を無視します。</p>
パークモニタリング転送非取得時のボイスメール (外部) (Park Monitor Forward No Retrieve Ext Voice Mail)	<p>この設定には、[ボイスメール プロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。</p> <p>この設定を使用すると、Cisco Unified Communications Manager は [接続先 (Destination)] ボックスと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定を無視します。</p>

フィールド	説明
パークモニタリング 転送非取得時のコー リングサーチスペ ス（外部）（Park Monitor Forward No Retrieve Ext CSS）	その電話番号に適用するコーリング サーチ スペースを選択します。
パークモニタリング 転送非取得時のコー リングサーチスペ ス（内部）（Park Monitor Forward No Retrieve Int CSS）	その電話番号に適用するコーリング サーチ スペースを選択します。
[パークモニタリング 復帰タイマー（Park Monitor Reversion Timer）]	このパラメータは、ユーザがパークしたコールを取得するよう同じユーザに促すまでに Cisco Unified Communications Manager が待機する秒数を決定します。このタイマーが開始するのは、ユーザが電話機の[パーク（Park）]ソフトキーを押したときです。タイマーが時間切れになるとアラームが鳴ります。 デフォルト：60 秒 0以外の値を設定すると、[サービスパラメータ（Service Parameters）]ウィンドウで設定されたこのパラメータの値が、この値でオーバーライドされます。ただし、ここで値 0 を設定すると、[サービスパラメータ（Service Parameters）]ウィンドウの値が使用されます。
不在着信のログを取 る（Log Missed Calls）	このフィールドを使用して、この機能をオンまたはオフにすることができます。Cisco Unified Communications Manager が電話機のその電話番号に関するコール履歴に不在着信を記録できるようにするには、「T」を入力します。この機能を無効にするには「F」と入力します。
[コール ピックアッ プグループ（Call Pickup Group）]	ピックアップグループ名を入力して、コール ピックアップグループを指定します。このグループは、適切なピックアップグループ番号をダイヤルすることで、この回線への着信コールに応答できます。

フィールド	説明
電話番号の URI (1-5) (URI (1-5) on Directory Number)	<p>この電話機の電話番号に関連付けるディレクトリ URI を入力します。 username@host の形式で入力してください。最大 47 文字の英数字からなるユーザ名を入力します。ホストアドレスには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。</p> <p>(注) Cisco Unified CM の管理ページで、二重引用符またはコンマが組み込まれた複数の URI を入力できます。ただし、一括管理を使用して、二重引用符やコンマが組み込まれたディレクトリ URI を含む csv ファイルをインポートする場合には、ディレクトリ URI 全体を二重引用符で囲み、組み込まれた二重引用符を二重引用符でエスケープする必要があります。たとえば、「Jared, "Jerry",Smith@test.com」というディレクトリ URI は、csv ファイルでは"Jared,""Jerry"" ,Smith@test.com」と入力する必要があります。</p>
[電話番号のURI(1-5) ルートパーティション (URI (1-5) Route Partition on Directory Number)]	ディレクトリ URI が属するルートパーティションを入力します。ディレクトリ URI へのアクセスを制限しない場合は、このフィールドを空白のままにします。
電話番号の URI (1-5) をプライマリ にする (URI (1-5) Is Primary on Directory Number)	<p>このディレクトリ URI をこの内線番号のプライマリディレクトリ URI として指定するには、「t」 (True) と入力します。このディレクトリ URI をこの内線番号のプライマリディレクトリ URI として指定しない場合は、「f」 (False) と入力します。</p> <p>(注) 1 つの電話番号に最大 5 つのディレクトリ URI を関連付けることができますが、1 つのプライマリディレクトリ URI を選択する必要があります。</p>

UDP 回線の追加関連のトピック

- [既存の UDP への回線の追加 \(1 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用した既存の UDP への回線の追加 \(2 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートの UDP 回線フィールドの説明 \(4 ページ\)](#)
- [BAT テンプレート内の電話回線の追加または更新](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。